



ほっこり…



No.11 2017.3.7
甲良町子育て支援センター
所長 大橋

今年の冬は豪雪と言っことし ふう とうせつ いていいほどたくさん雪が降ゆき ふりましたね。大人はもうウンザリ…でも、子どもたちには不思議な自然との出会いに心はワクワクあいだだったことでしょう。

“ほっこり”、ずいぶんあいだと間があいてしまいましたが、今回は保育園や幼稚園の入園前こんかい ほいくえん ようちえん にゅうえんまえということで、子どもたちはもちろん、保護者の皆さんほごしゃ みなに少しでも安心すこしていただけるような話あんしんをしたいなあはなしと思います。

“ほいくえん(ようちえん) たのしみ!!”

あとひと月で保育園・幼稚園つき ほいくえん ようちえん にゅうえんに入園…子どもたちにとってはもちろん、保護者の皆さんほごしゃ みなにとっても「ドキドキ! ワクワク!」で楽しみたのしみな思いと同時に「ちゃんと行けるかな〜」と不安ふあんが入り混じったような複雑ふくざつな気持ちきもちでおられるのではないかなおもと思います。

“入園までに〇〇ができるようにしないと!”

“みんなと一緒にちゃんとできるかな?”

…など、心配しんぱいはつきないものですが、何なにより、子どもたちが笑顔えがおで入園式にゅうえんしきを迎えられるようにすることが一番いちばん。“園に行ったら、何なにして遊ぼう? 楽しいことあそび たのしみいっぱいあるかな?” ……生まれて初めて、お家うちとは違う新しい環境ちが あたら かんきょうに飛び込むお子さんと こです。できる限り安心かぎ あんしんして第一歩だいいっぽが踏み出せるように応援おうえんしたいですね。

入園当初にゅうえんとうしょから完璧かんぺきな“スーパー園児えんじ”さんはいないです。もちろん、園の先生えん せんせい方もそんな“スーパー園児”さんを求めているわけではないです。

みんな、何もかもが初めての経験けいけんで、その経験とあを通して子どもたちは“自分で生活を送っていく力”じぶん せいかつ おく ちからや“まわりのひとと上手うまにかかわっていく力”、そして、自分の持ち味じぶん も あじを生かして生き生きと活動する力ちからをつけていくのだと思います。100人いたら100通りの持ち味じぶん も あじがあって、一人一人がそれぞれの持ち味を生かし合うことがこれからの時代じだいにはとても重要じゅうようになってくるといわれています。

そんなふうに、一人一人のよさをじっくり時間をかけて育てていくのが乳幼児期、つまり保育園や幼稚園時代ようちえんじだいです。ですから、あせることなく、みんなで子どもたちの新しいスタートあたをあたたかくゆつたりとした気持ちきもちで支えていきたいと思います。もちろん、支援センターの職員しえん しょくいん ぜんりやく おうえんも全力で応援します!

この間、NHKのある番組ばんぐみを見ていたら、汐見稔幸先生しおみとしゆきせんせい（東京大学名誉教授・日本保育学会会長）が下のような内容ないようのコメントをされていました。

環境問題かんきょうもんだいについて授業じゆぎょうを依頼いらいされて来日らいにちされたある著名な教授ちよめい きょうじゆが、日本の子どもたちと自国ドイツの子どもたちとの大きな違いおどろに驚おどろかれたそうです。それは……

授業ではとても熱心ねっしんに聴いて理解りかいしていたのはどちらも同じだったのですが、違ったのはその後の行動こうどうなんだそうです。ドイツの子どもたちは、授業から自分じぶんにできることを即行動そくこうどう。つまり授業を受けた次の日、何人もの子どもたちが空き缶つぎ ひ なんにんを袋あに詰め込んで学校へ持ってくるというのです。…そこが、全然ちがう…と驚おどろかれたという話はなしです。汐見先生は同じように素晴らしい授業を受け、ちゃんと理解しおみせんせい おなはしたのに日本の子どもたちが行動につなげられないのはどうしてかを私たち大人は考えていけないいと言われていました。う〜ん、納得なっとくです、そして、考えさせられます…。